令和7年8月大雨営農再開支援事業（ハード） （国事業名：農地利用効率化等支援交付金）

令和7年8月大雨により、農業生産等に必要な農業用機械・施設に甚大な被害が生じていることから、被災した担い手の速やかな営農再開に必要な農業用機械・施設などの原形復旧等を支援します。

1. 支援内容

被災した施設・農業用機械の修繕・再取得等を支援します。※トラック(汎用性の高いもの)は対象外です
大雨により被害を受けた日以降の取組(着工)であれば、本事業の計画承認等の手続き前の取組でも対象となります。

補助率： 7/10以内
補助額： 上限1,400万円

修繕・再取得する施設及びその付帯設備は残存年数や共済加入の有無により助成金変動します。

2. 助成対象者

地域計画の目標地図に位置付けられた者
(位置付けられることが確実であると市が認める者を含む)

3. 助成対象経費

- 農業用機械・畜舎等(園芸施設共済加入対象外)の修繕・再取得(原形復旧)
例)トラクター、田植機、コンバイン、農機具倉庫、加工施設、果樹棚、畜舎 等
※被災した農業用機械等が法定耐用年数を経過している場合も支援対象
※コンテナやパレット等の補完的器具及びマルチや農薬等の消耗品、トラックは対象外となります。
- 農業用ハウス等(園芸施設共済加入対象)の修繕・再取得(原形復旧)
例)農業用ハウス、加温用ボイラー、かん水施設 等
※被災した農業用施設等が法定耐用年数を経過した場合も支援対象
- 農業用機械、農業用ハウス等の機能向上のための取得(規模拡大・機能向上)
例)経営規模拡大に必要なコンバイン、トラクター等の能力向上、ハウスのアーチ構造の骨材組み入れ等
※通常事業と同等の成果目標設定が必要となります。

注意点

- 整備内容ごとに事業費が50万円以上のものが対象です
- 修繕ができない場合に買い替える際はメーカーの修繕不能証明書の提出が必要です
- 修繕・再取得した農業用機械等は保険への加入等が必要です

4. 成果目標

交付金を申請する方は被災前の水準を上回る右の【必須目標】(①)と【選択目標】(②から④のうち1つ)について数値目標を設定する必要があります。

【必須】	①付加価値額(収入－経費＋人件費)の拡大
【選択】 ②～④のうちから1つ	②農産物の価値向上
	③単位面積当たり収量の増加
	④経営コストの縮減

5. 申請に必要なもの

(共通)

- 必要書類確認表(チェックリスト) *窓口又は宇城市ホームページにて確認ください。
- 被災証明 *被災証明の流れは6を参照ください。
- 被災状況写真 *どのような写真が必要かは6を参照ください。
- 成果目標設定根拠(成果目標の根拠となる確定申告書、決算書、農地基本台帳等)

(修繕の場合)

- 修繕見積書
- ※園芸施設共済対象機械の場合は共済加入証明・支払通知

(再取得及び規模拡大・機能向上の場合)

- 機械メーカーが発行する修繕不能証明
- 見積書
- カタログ
- *園芸施設共済対象機械の場合は 共済加入証明・支払通知
- *機能強化させた機械等を導入の場合は 規模決定根拠

6. 被災証明及び写真について

この事業では市からの被災証明が必要となります。

被災証明の際には、被災状況のわかる以下の写真をお持ちいただいた上で、被害についてヒアリングを実施させていただきます。(写真は現像不要です。来庁の際に写真をデータで取り込みます。)

提出が必要な写真(機械の場合)	提出が必要な写真(施設の場合)
<ul style="list-style-type: none"> - 被災機械の全景 - 被災箇所 - 型式番号プレートなど能力等が確認できるもの - アタッチメント等の装備状況 	<ul style="list-style-type: none"> - 全景(可能な限り4方向(前面・背面・左右側面)から撮影) - 被災箇所 - 農業経営に使用していた状況がわかる写真

7. 提出日

期日までに「5.申請に必要なもの」を揃えて宇城市経済部農政課(本庁10番窓口)へ提出してください。

提出日(要望調査締切): **令和7年10月22日(水)17時00分**